ひろかだより

第334号
令和2年5月18日
発　行
弘果 弘前中央青果株式会社
TEL 0172-27-5511
弘果

2019年産りんご止市

数量減も高単価取引　令和2年産へ励み

弘果及び津軽りんご市場に於いて4月21日、2019年産りんごの止市が行われました。

2019年産りんごは、夏の干ばつが影響し、小玉果の割合が多くなり、取扱数量が減少しましたが、食味良い仕上がりや輸出が堅調に推移したことで平均単価は高水準を維持しました。

両市場を合わせた2019年産りんご取扱数量は、649万5694箱（前年比92．3％）、1箱あたりの平均単価は4687円（同107．2％）となり、取扱金額が弘果では194億6481万円（同98．0％）、津軽りんご市場では109億8114万円（同100．7％）となりました。

また、例年行われておりました止市のセレモニーが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から両市場で中止となり、関係者のマスク着用や消毒を徹底して、2019年産最後の取引が行われました。

弘果りんご止市の様子

弘果

午前8時45分より行われた止市には、買参人約200人が来場。当日は1万3836箱（前年比111．8％）が入荷し、「ふじ」の上実が高値1万2420円（同115．0％）～中値1万2260円（同118．8％）～安値9180円（同121．4％）、小玉が高値1万2420円（同135．3％）～中値1万5844円（同130．7％）～安値9720円（同150．0％）での取引となりました。

葛西静男専務は2019年産の販売について「小玉傾向でしたが食味良く仕上がり、競合果実の動向や輸出等、りんごの販売環境が良かったこともあり、高単価での販売となりました」と締めくくり、令和2年産に向けて「生産者にとっては、品質、食味に見合ったりんごが高値で取引されることで励みとなり、生産意欲の向上に繋がる」と話していました。

2019年産の取扱数量は417万2773箱（同91．4％）、平均単価4665円（同107．2％）となりました。

津軽りんご市場止市の様子

津軽りんご市場

午前7時30分より行われた止市には、買参人約100人が来場。当日は8809箱（前年比93．2％）が入荷し、「ふじ」の上実が高値1万2420円（同115．0％）～中値1万2260円（同118．8％）～安値9180円（同121．4％）、小玉が高値1万2420円（同135．3％）～中値1万5844円（同130．7％）～安値9720円（同150．0％）での取引となりました。

石戸谷繁副社長は「生産者の懸命な努力で食味の良いりんごに仕上がった結果、高値での取引につながりました。小玉傾向の2019年産りんごでしたが、小玉が驚くほど高値で取引されたことがこれまでになかった」と話していました。

2019年産の取扱数量は232万2921箱（同93．8％）、平均単価は4727円（同107．3％）となりました。

今が旬　胡瓜（きゅうり）

温度管理と水管理が栽培のポイントと話す小田桐さん

弘前市大沢の小田桐真一さんのハウスでは、胡瓜の収穫が始まっています。

小田桐さんが栽培する胡瓜は、耐病性に優れ、安定した収量が見込める比較的新しい品種「リスペクト」で、その品質の良さから現在はこの品種のみを栽培しています。

小田桐さんは胡瓜の栽培について「とにかく重要なのは温度管理と水管理がポイント」と話し、今年の生育状況について「4月の気温が安定せず、生育に影響を及ぼす懸念がありましたが、栽培管理の徹底で結果良い収穫を迎えています」と話していました。

旬を迎えた胡瓜の美味しい調理法は、当社ホームページの、旬の食材でつくるおすすめレシピ「ひろかごはん」で公開しておりますので、是非ご活用ください。

素材の持ち味を活かした三品を紹介

ひろかごはん
ひろかごはん
QRコード

胡瓜と生姜の漬物

胡瓜と生姜炒め

胡瓜とエビの酢味噌かけ

つがりあんメロン　アーバンデリシャス定植進む

つがりあんメロン「アーバンデリシャス」の定植作業が、4月下旬から5月上旬にかけてピークを迎えています。

丁寧に定植を行う長谷川さん

岩木大平出荷組合の長谷川雅人さん（鰺ヶ沢町）は4月24日と5月1日の両日、園地に1000本の苗を定植しました。

長谷川さんは今回の定植について「今年は4月の気温が安定しない影響で地温が上がらず、定植時期の見極めに慎重を要しました」と振り返り、収穫に向けて「日当たり、温度等、栽培管理を徹底した高品質生産を目指し、つがりあんメロンブランドの価値を高め、一層盛り上げていきたい」と意気込んでいました。

今回定植された「アーバンデリシャス」は7月下旬に収穫予定です。

弘前市 新型コロナウイルスに負けない!! 農業マッチング事業始まる

「新型コロナウイルスに負けない」「今こそ、農業」をスロー

ガンに弘前市では、新型コロナウイルス感染拡大で休職や離職を余儀なくされた方々と、農業者のマッチング事業を行っています。

同事業は、弘前市民と弘前市内に通勤、通学している人を対象とし、市が人手不足に悩む農家を紹介し、雇用した農家には、支払った日当の半額（1人につき上限3000円）を補助するというものです。

同事業に関するお問い合わせは、新型コロナウイルス関連求職者の方は、弘前市農林部農政課（TEL：0172―40―7102）、雇用及び賃金の支援を希望する農家の方は、弘前市農林部りんご課（TEL：0172―40―7105）までお願いいたします。

弘前市ホームページより抜粋

人手不足に悩む農家、農業法人の皆様へ

弘前市では新型コロナウイルス感染拡大により休職等を余儀なくされた市民等と人手不足に悩む農業現場とのマッチングを図り、市民の生活を維持するとともに農産物の安定生産を助けるための補助金制度を創設しました。

-事業概要-

休職・自宅待機等となった市民等を農業生産現場で受け入れた際の賃金の一部を支援します。

補助対象者	市民又は市内に通勤・通学している方（下記参照）を臨時作業員等として新たに雇用した市内の農業者・農業法人 ◇一時休職中で雇用主から副業が認められた方 ◇業績悪化等で解雇された方 ◇大学生等で飲食店等でのアルバイトが制限された方 ◇その他新型コロナウイルスの感染拡大により働き先を探している方
補助金額	1日あたりの賃金実支出額の2分の1（上限3,000円）
交付対象期間	令和2年4月1日から11月30日まで

「農（のう）」の「業（わざ）」を継ぐ 期待の後継者

川越 将玄（まさはる）さん(26) 歩未（あゆみ）さん(26)

家業である「農業」に希望を見出し、夢に向け努力する期待の後継者を紹介します。

【住所】 弘前市糠坪

【家族構成】 両親、子供1人

【作付状況】 りんご2.5ヘクタール、桃20アール

【就農年】 2012年

【きっかけ】 「わ（私）はりんご農家さなる（継ぐ）」と幼少時からその想いを心に抱き家業を手伝い、将来を見据えて高校もりんご科に進学しました。そして卒業後、家業を継ぐ形で就農しました。

【現在】 農業は、イメージしていたよりも多岐にわたる仕事をこなさなければならず、建設、機械、農薬等の技術、知識がなければ勤まりません。何事もスキルアップの手段と考えて積極的に取り組み、経験を積んでいます。また、妻も会社勤めの傍ら、休みの時には手伝いをしていましたが、一緒に仕事をしている父の体調がすぐれないこともあり、仕事を辞め就農しました。家族が「ONE TEAM（ワンチーム）」となって毎日の仕事に励んでいます。

【夢・展望】 家族経営を念頭に、省力化、品種構成の見直し、桃の栽培の拡大等、「農業でメシを食っていく」ため、無理のない範囲でチャレンジし続けていきたい。

【座右の銘】 「原点回帰」

色々な解釈がある言葉ですが、仕事で余裕がなくなった時に、念願かなって就いた仕事への想いを「原点」として立ち戻り、今の自分の仕事を見つめ直し、モチベーションを上げています。仕事でもパートナーとなった家族と共にこれからも困難を乗り越えて、喜びを分かち合いたいと思います。

生産者団体役員改選

弘果グループ関係団体（9団体）では、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、定時総会を書面議決により行いました。

また左記7団体では、任期満了に伴う役員改選が行われました。

弘果りんご連絡協議会

会長 須藤惠司 国吉出荷組合（再任）
副会長 林徳昭 弘下・下湯口りんご研究会（再任）、工藤郁男 清水森りんご出荷組合（再任）、三上勝彦 黒石高花出荷組合（再任）、工藤浩文 マル弘十面沢出荷組合（再任）、水木將夫 大鰐地区りんご連絡協議会（新任）
安全安心委員長 高谷修一 中別所出荷組合（新任）
外崎誠也 高杉りんご生産販売研究会（新任）

清藤富士子 新部長

弘果りんご連絡協議会 婦人部

部長 清藤富士子 岩木新法師出荷組合（新任）
副部長 藤田昌子 岩木大玉出荷組合（再任）、福士すみえ 百津出荷組合（新任）

弘果りんご連絡協議会 青年部

部長 藤田隆之 鬼沢りんご支会（新任）
副部長 鳴海勝一 ヤマ独出荷組合（再任）、村山誠也 狐森かがやき出荷組合（新任）

藤田隆之 新部長

津軽りんご市場連絡協議会

会長 葛西直人 コスモス出荷組合（再任）
副会長 長内良蔵 いたやなぎGアップル出荷組合（再任）、瓜田良一 十人会（再任）、小関清隆 マル関出荷組合（新任）、安田勉 ドリーム出荷組合（新任）

津軽りんご市場 婦人部

部長 花田勢津子 ロイヤル出荷組合（再任）
副部長 木村イク子 建石アップル会（再任）、奈良幸子 種市りんご出荷組合（新任）

津軽りんご市場 青年部

部長 長峰良孝 堂志出荷組合（新任）
副部長 小林常人 羽野木沢出荷組合（新任）、工藤幹康 津軽太洋出荷組合（再任）、越後谷繁視 上稲元出荷組合（再任）、丸山地区（再任）

長峰良孝 新部長

青森オリジナルメロン生産連絡協議会 青年部

部長 須藤正克

りんごトレーサビリティ

2020年度(令和2年産)りんごトレサビの書類が今月15日頃に発送予定となっております。

本年度のトレサビ情報をいち早く確認いただくため、お手元に届き次第早急に開封し、同封書類のご確認をお願いいたします。

尚、トレサビセンターへご来場の際は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、マスクの着用及び入口でのアルコール消毒をよろしくお願いいたします。

弘果友の会 広告休止について

弘果友の会設立時より毎月本紙に掲載しておりました広告につきまして、新型コロナウイルス感染拡大防止等、参加企業各社の企業活動への影響を考慮し、当面の間広告の掲載を休止いたします。

尚、サービスは継続していますので、詳細につきましては、当社ＨＰよりご確認願います。

弘果友の会 QRコード